五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金事業 平成31年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		
						指標	基準値 H28年度	指標値 H31年度	実績値 H31年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見	
											評価					理由
30	五泉ニット製品開発事業(基礎)	商工観光課	基礎	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。試作品の製作、イタリアでの評価、イタリア企業との仮調印を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業」として継続支援。	・現在の様々な取組や方向性(地域ブランド化を進めるとともに、国内だけでなく海外に向けた展開も視野に入れ、他の産地やブランドとの差別化や、国際競争力の強化に向けた取り組み)は正しいと思われるがKPI実績値の伸びが見られないため、現在実施している様々な取組を継続していくとともに、昨年の幹事会での提案(顧客意識・意向把握のためのアンケート調査、リニューアルしたHPの周知、商品タグ等へQRコードを付すことによる商品情報の提供等)も取り入れてみてはどうか。	1 【意見・質問】 ・人材の面では、専門学校や大学から話がきている。 ・ニットフェスを最終的には「五泉ニット」に限らず「五泉」のフェスにできれば、五泉の地域活性化に寄与できると考えている。今後も継続し、拡大してもらいたい。 ・服以外の様々なアイデアのアイテムを若い人向けに発信してもらいたい。 【KPI達成への有効性】 ・有効であったと考える。		
	五泉ニット製品開発事業(上乘せタイプⅡ)		上乘せタイプⅡ	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。計画策定のため委員会を開催、視察研修を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。										
31	五泉ニット地域ブランド化事業(加速化)	商工観光課	加速化	平成28年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す取組に対して支援。品質基準を満たしたニット製品の開発、次世代を担う人材育成のための技術訓練を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。	・低迷が続くアパレル業界の中で生産額が増加していることは、これまでの取組みや方向性は正しいと思われるため、引き続き、ニット組合が行うブランド化事業を支援していくことが重要である。 ・生産額が増加している要因として、ニットフェスにおいて、高校生や商店街など地域を巻き込んでいることやSNSで情報発信を行っていることが考えられるため、引き続き、支援を実施していくとよい。 ・異業種とのコラボ商品やお客様のニーズに合った商品(コロナ禍におけるニットマスクなど)の開発が必要と考えられる。 ・定期的なメディア戦略を行いながら、五泉ニットを市内外に広くPRし、さらに認知を上げていくことが必要である。 ・HPを改装しニットのネット販売がスタートしているが、消費者(購入希望者)や一般市民へ十分に浸透していないのではないか。周知が必要と考えられる。 ・SNSが情報発信には有効とされるが、『ロコミ』や『人ずて』も違った効果があると思われる。販売戦略の一つとしてみてはどうか。			
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成29年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。										
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成30年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	—	平成30年度事業のため、平成31年度に検証済み。										
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成31年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	10,030	1. 産地でのニット生産額	118億円	127億円	119億円	未達成	C 効果があつた。			R2年度以降も五泉ニット工業協同組合への支援を継続し、国内外に認知される産地ブランド化の確立を目指す。 ①人材育成事業 ②地域活性化事業 ③市場・販路開拓事業 ④広報・PR事業		
				2. ニット従業者の雇用数	635人	690人	640人	未達成								

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金事業 平成31年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		
						指標	基準値 H28年度	指標値 H31年度	実績値 H31年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見	
											評価					理由
47	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (基礎)	商工観光課	基礎	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。新商品2点の開発を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降も継続支援。	【意見・質問】 ・商品の周知が思うように進んでいない。まずは市内の方から商品を知ってもらうよう、PRに力を入れてほしい。 ・商品開発が進んでおり、うどんなどは高い評価を得ている。販路拡大を進めてほしい。 ・観光客数は天候に左右され、特に今年はコロナ禍もありかなり厳しい状況。ニット同様、村松の桜もブランド化できれば。 1 ・効果があるかないかではない、やらないよりはやったほうがよく、指標未達成でも効果はあったと考えている。もちろん、費用対効果が出たかは考えなければいけない。村松の桜の有効活用として始めたことで、もともとは外国人や観光客をターゲットにしていた。まだ時間がかかると思うが今後もPRを進めていく。 ・桜アロマは五泉市活性化の起爆剤になりうると考えている。中学校でも桜アロマ関連の授業を行っており、PRになっていると思う。 【KPI達成への有効性】 ・有効であったと考える。			
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (上乘せタイプII)	商工観光課	上乘せタイプII	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。食品・化粧品原料としての品質・規格確立を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。										
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (加速化)	商工観光課	加速化	・五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。機能性原料としての確立、特許取得を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	・(一社)五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ事業に対する支援を行う。 ・市場調査、PR活動、学会等への出展 ・癒し効果の評価、抗腫瘍物質の確認実験、成分分析	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者として運営する「ごせん桜アロマ工房」を活用しながら継続的に事業を推進する。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (拠点整備)	商工観光課	拠点整備	H28→H29の繰越事業 ・五泉市ごせん桜アロマ工房を建設。 施設概要:木造平屋建て鋼板葺き1棟 床面積213.5㎡、低温真空乾燥室、冷菓製造室、売店、事務室等	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	交付金対象事業費 3,161千円 ○(一社)五泉市観光協会が実施分 ・桜摘み取り作業費 441千円・市場調査、PR活動、学会等への出展 612千円・成分分析、品質検査費 300千円・ヘルスツーリズムモデル事業 339千円 ○五泉市実施分 桜植栽費 1,469千円	—	平成30年度事業のため、平成31年度に検証済み。						交付金活用事業。 (一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。				
The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	交付金対象事業費 4,892千円 ○(一社)五泉市観光協会実施分 ・桜摘み取り作業費 544千円・商品試作品・試供品製造委託1,500千円・成分分析、品質検査費 440千円・商品普及啓発事業 846千円 ○五泉市実施分 桜植栽費 1,562千円 交付金申請におけるKPIは下記のとおりとなった。	17,666	1. 桜アロマ機能性原料及び商品の総売上高	300千円	17,900千円	4,584千円	未達成	C 効果があつた。	観光入込客数については、最大の集客時期である花シリーズの期間に天候に恵まれず集客に繋がらなかった。 総売上高については、未達成ではあるが、令和元年度が前年度の2倍超となった。 雇用創出数については、新たな雇用を生み出すまでには至らなかった。 桜うどんは順調に売り上げが伸びている。また、今年度より保湿度がラインナップに加わった。引き続き販路の拡大とアロマ関連商品の開発を進めなければならない。	(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。				
2. 桜アロマ事業化による雇用創出数	0人	4人	3人	未達成												
3. 観光客入込数 (基準値H26)	771600	816,000人	563,046人	未達成												